

2-1. 効率よく作図を行うための設定。

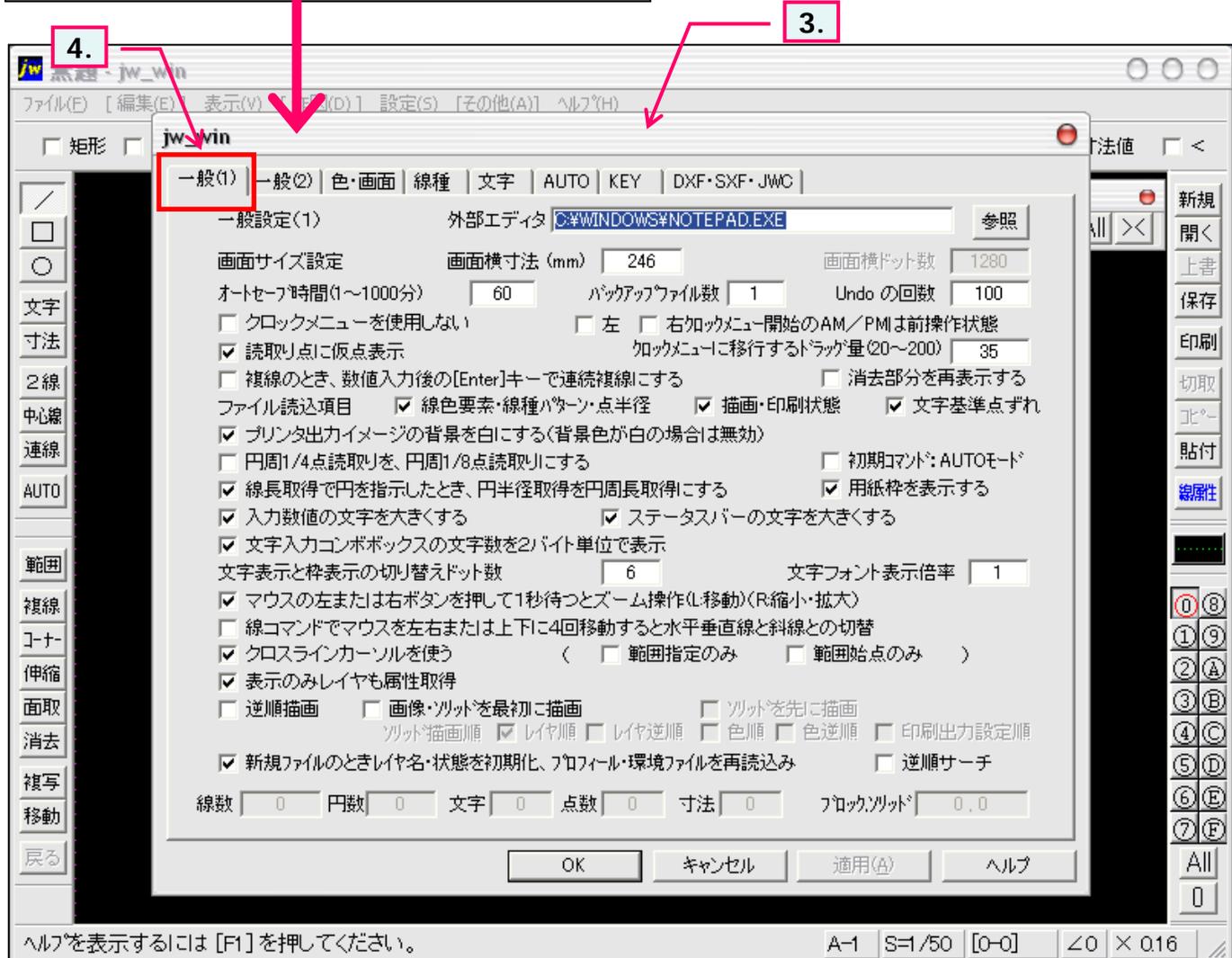
JW-CADも使用者の好みに応じて動作や表示状態を「環境ファイル」で設定できます。

ここでは一例として設定してみましょう。

設定の反映が理解できましたら、より好みに合わせて変更してみてください。



1. メニューバーより「設定(S)」をクリックします。
 2. 項目より「基本設定(S)」をクリックします。
 3. 下図のように「環境設定」ウィンドウが表示されます。
 4. 設定変更するタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。
(この画面では一般(1)です。)
- 他の設定タブが表示されている場合はタブの上をマウス左ボタンクリックで変更できます。



ヘルプを表示するには [F1] を押してください。

2-2. 効率よく作図を行うための設定(一般-1)

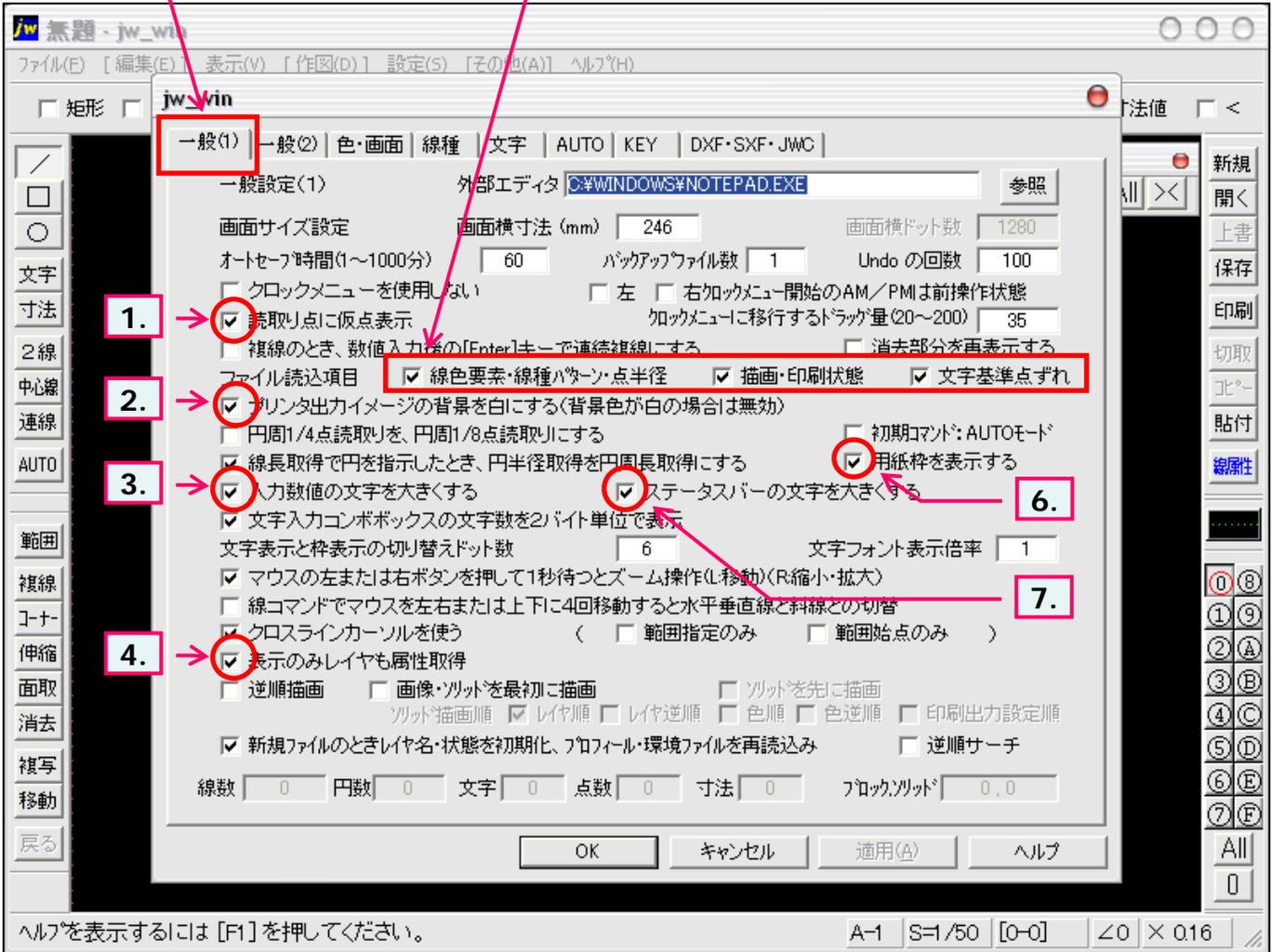
使用環境を設定:一般(1)

ここでは環境設定「一般(1)」を見ていきます。

設定の意味がよく分からない場合はとりあえずこの画面のように設定してみてください。

注1.

5.



注1・・・「一般(1)」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

下記項目へチェックを入れてください。

1. 「読取り点に仮点表示」

マウス右クリックにより読み取った端点等に丸印が仮表示されます。

2. 「プリンタ出力イメージの背景を白にする」

印刷時に用紙色が白(印刷イメージと近い)で表示されます。

3. 「入力数値の文字を大きくする」

数値を入力する部分の数字が大きく表示されます。

4. 「表示のみレイヤも属性取得」

表示のみ(編集不可)のデータも属性取得が可能になります。

5. ファイル読込項目の「線色要素・線種パターン・点半径」、「描画・印刷状態」、「文字基準ずれ」

ほかの方が作成された図面(.jww)内容を再現できます。

💡 ここにチェックがない場合は作成者の意図しない画面表示・印刷結果となる場合があります。

6. 「用紙枠を表示する」

1-5(2)で出てきた用紙枠が表示されます。

7. 「ステータスバーの文字を大きくする」

1-5(1)以降で紹介している「ステータスバー」部分の文字が大きく表示されます。

💡 属性・・・線や文字の要素(線色・線種・書き込んであるレイヤ・レイヤグループ等)

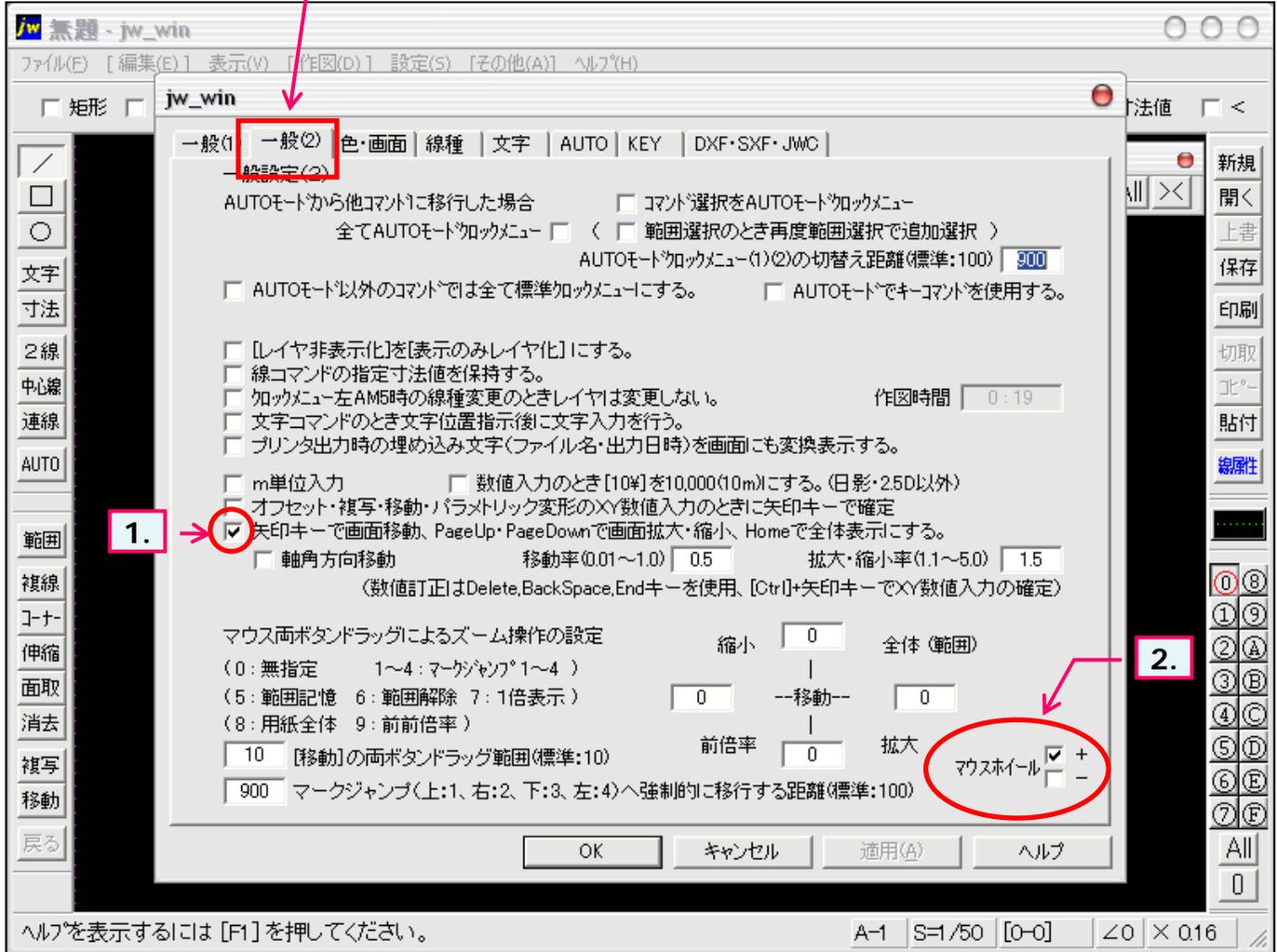
2-3. 効率よく作図を行うための設定(一般-2)

使用環境を設定: 一般(2)

ここでは環境設定「一般(2)」を見ていきます。

設定の意味がよく分からない場合はとりあえず画面のように設定してみてください。

注1.



注1・・・「一般(2)」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

下記項目へチェックを入れてください。

1. 「矢印キーで画面移動、PageUp・PageDownで図面拡大・縮小、Homeで全体表示する。」

キーボードで図面表示の移動等ができます。

2. 「マウスホイール」・・・+・- どちらでもかまいません。

(マウスボタンの間にクルクル回す所があるタイプを使用されている方は、ここを回すことにより図面の拡大・縮小表示ができます。)

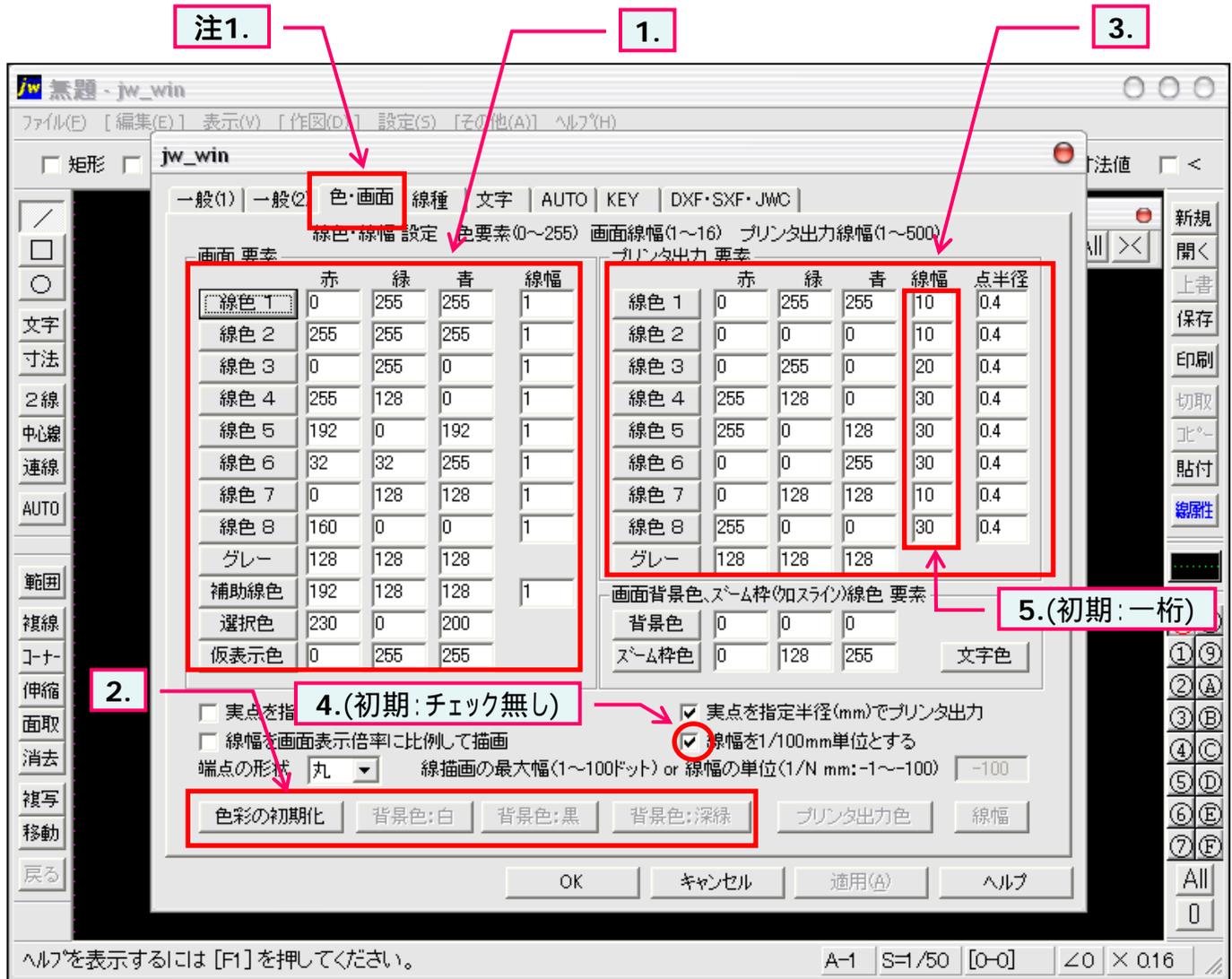


これら画面表示・動作を好みに合わせてカスタマイズしていくことにより、作業効率が格段アップします。

2-4(1). 効率よく作図を行うための設定(色・画面)

使用環境を設定: 色・画面

ここでは環境設定「色・画面」を見ていきます。



注1...「色・画面」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

1. 「画面要素」

画面に表示されている線色・線幅を変更できます。

・「線色n」ボタンを押すと視覚的な色の設定ができます。
(次項でプリンタ出力要素とともに詳しく説明しています。)

・赤・緑・青(RGB)の数値は色を形成している個々の要素番号です。グラフィック関連程の繊細な設定が必要ありませんのでここでは説明は省略いたします。

・「線幅」の数値で特定の線色の表示巾を設定できます。
通常、特に変更する必要はないでしょう。

2. 「色彩の初期化」ボタン

このボタンを押すことにより右隣の「背景色」ボタンが押せます。「背景色: 白」や「背景色: 黒」等のボタンを押すことにより初期線色設定を自動的に割り当てます。

このテキスト画面はすべて「背景色: 黒」での表示です。

3. 「プリンタ出力要素」

「画面要素」と同様に印刷時の線色・線幅が変更できます。

💡 設定・変更・確認が手軽にできるので、特に設備系図面の印刷時に便利です。

4. 「線幅を1/100mm単位とする」

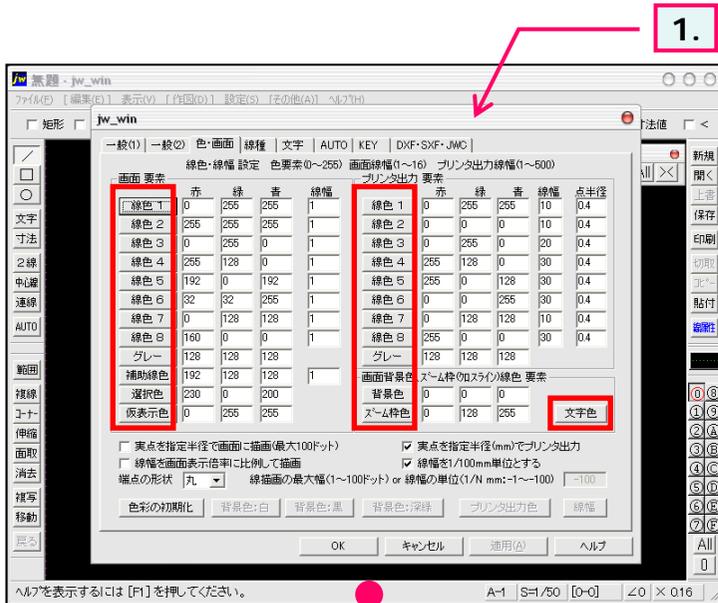
ここにチェックを入れると「5.」部分の数値桁が変化しますので印刷時には注意が必要です。

2-4(2). 効率よく作図を行うための設定(色-補足)

使用環境を設定:色・画面-補足

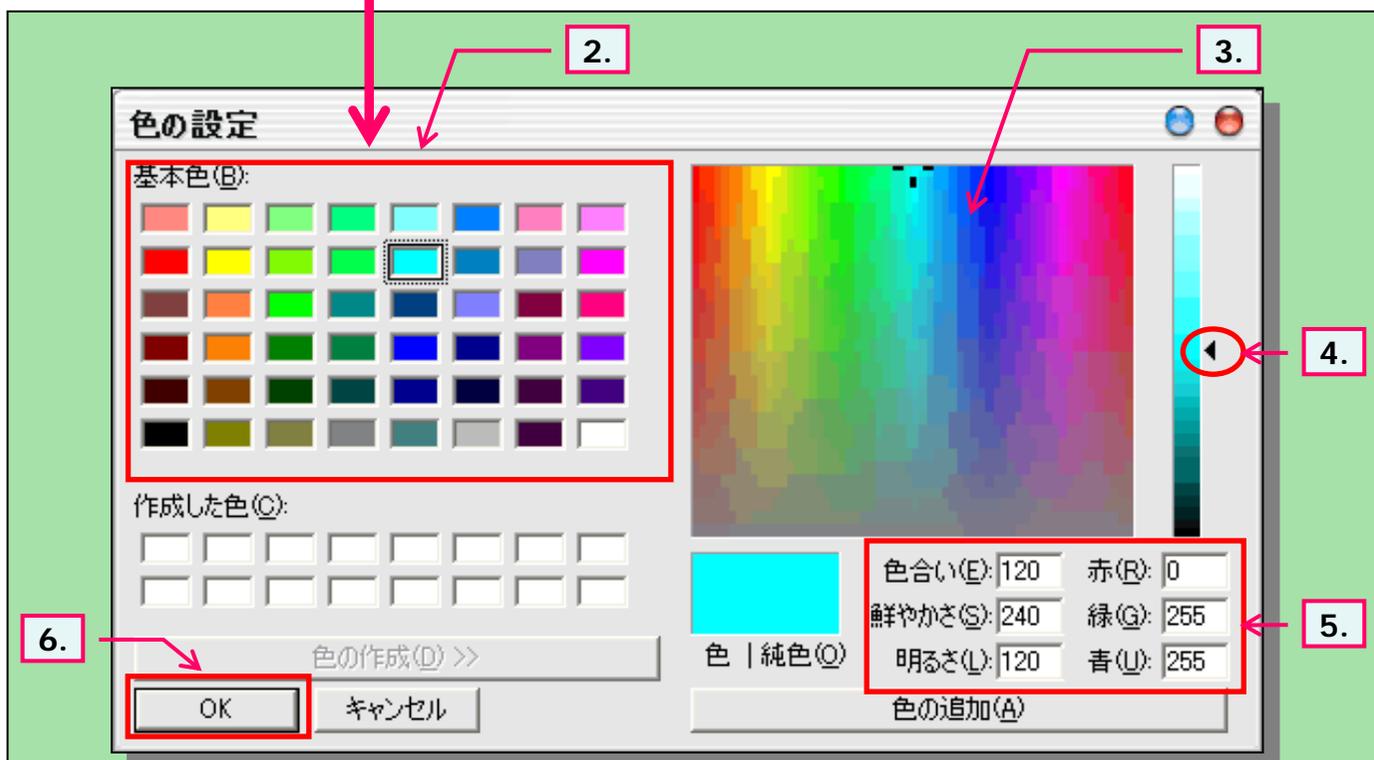
環境設定「色・画面」の続きです。

画面要素やプリンタ出力要素部分の「線色1」・・・等のボタンを押したときに表示される色の設定画面です。



1. 前項2-4「色・画面」設定ウィンドウです。

・赤枠で囲われた各部分のボタンを押すと、下図の「色の設定」ウィンドウが表示されます。



2. 表示や印刷に使用したい色を押すと選択できます。

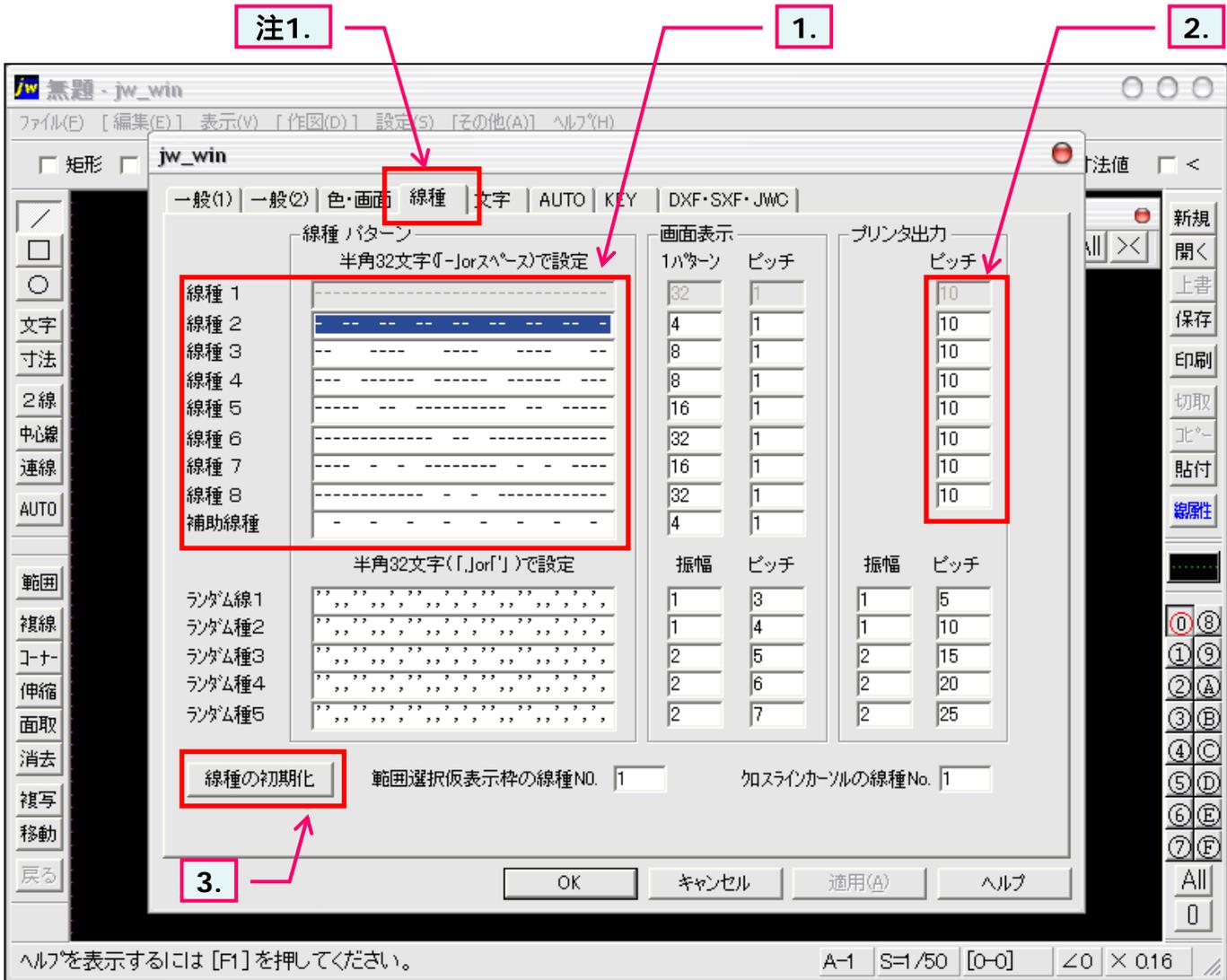
3.4.5.で微かな色合を調整できますがCADでは特に必要ないでしょう。

6. 最後にOKボタンを押して選択色を確定します。

2-5. 効率よく作図を行うための設定(線種)

使用環境を設定:線種

ここでは環境設定「線種」を見ていきます。(特に変更しなくても良いと思います。)



注1・・・「線種」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

1. 「線種パターン」

直線以外の線(一点鎖線や点線等)のパターンをkeyボードの「-」や「スペース」を入力、削除で変更できます。

2. 「プリンタ出力・ピッチ」

線種パターンで設定してある「-」や「スペース」個々の巾を設定します。(印刷時に適用)

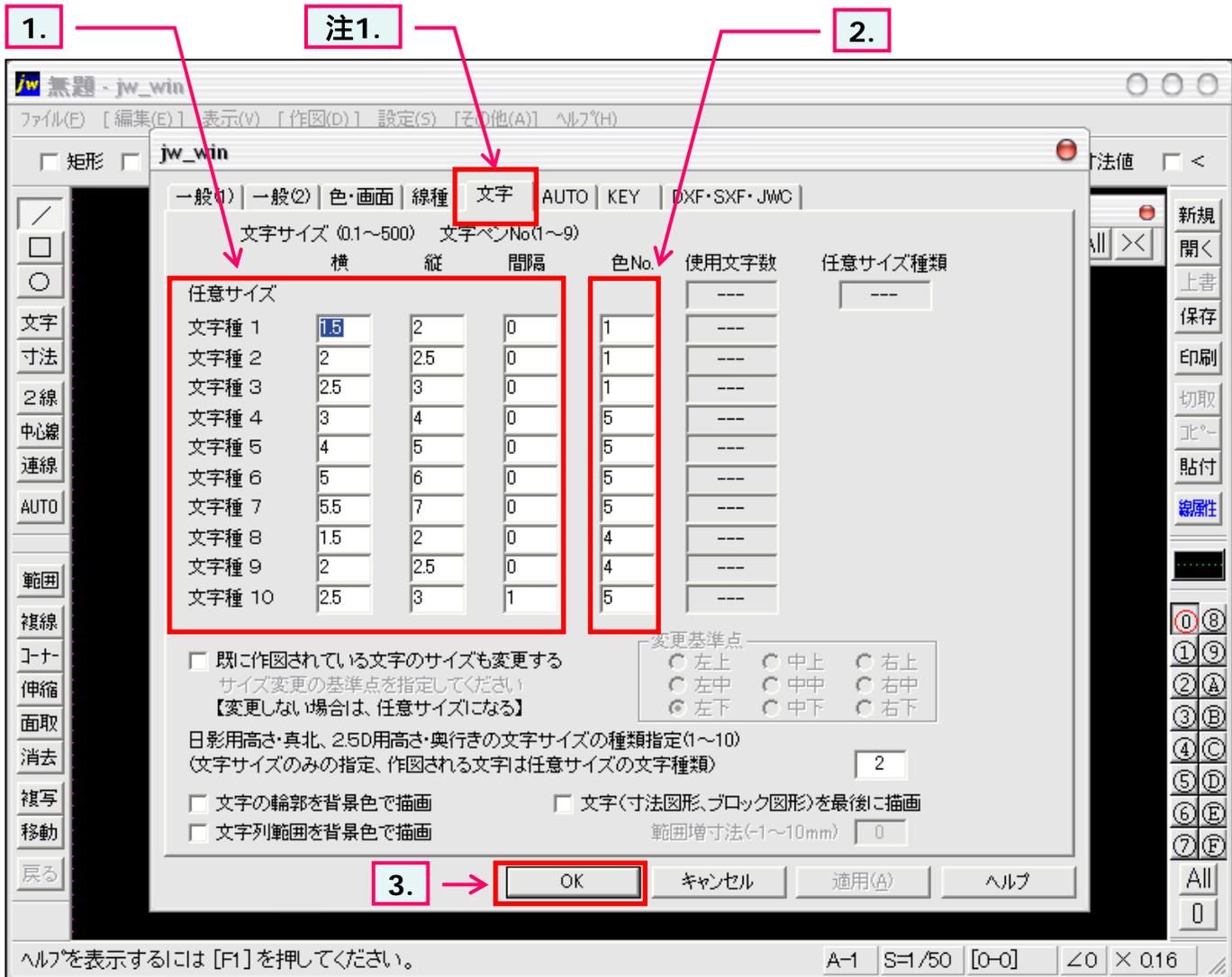
3. 「線種の初期化」

変更を加えた後で初期値の戻すときにこのボタンを押します。

2-6. 効率よく作図を行うための設定(文字)

使用環境を設定:文字

ここでは環境設定「文字」を見ていきます。



注1・・・「文字」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

1. 「文字サイズ」

使用する文字のサイズをあらかじめ登録できます。

- ・1文字の「横(巾)・縦(高)」を入力します。(単位mm)
- ・「間隔」で文字間を入力します。

2. 「色No.」

表示・印刷の色を設定ができます。

- ・数字は「2-4(1)～(2)」で設定した線色番号を入力します。



作図中、文字列個々に任意のサイズ・色が設定できます。

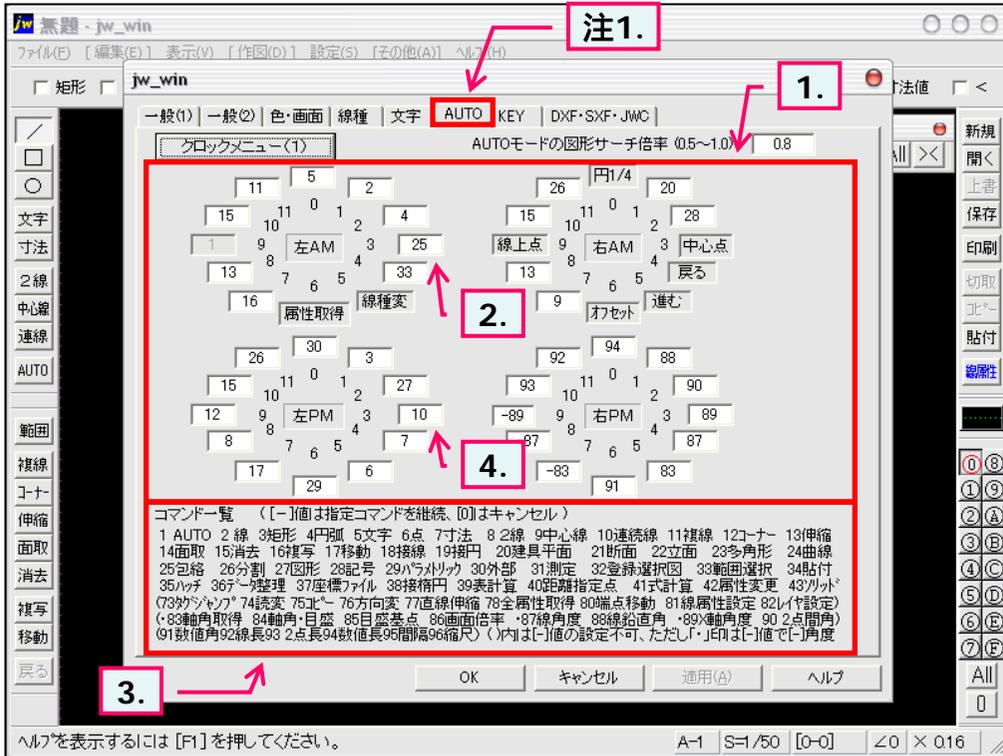
3. OKボタンで設定変更を確定します。

文字サイズの設定・変更は「3-5・文字の入力」で実際の操作手順を追いながら説明しています。

2-7. 効率よく作図を行うための設定(AUTO)

使用環境を設定: AUTO

ここでは環境設定「AUTO」を見ていきます。



💡 AUTOモードは大変便利な機能ですが、JW-CADをある程度使い慣れてからでないと(各コマンドで何ができるのかを把握)かえって混乱するかもしれません。

まずは、通常の作図モードで使用できるクロックメニューの習得をお勧めします。(マウス操作はAUTOモード時と同じですが指示できるコマンドの内容が若干違います。)

6-2で説明しております。

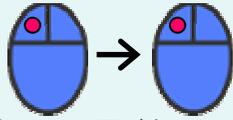
注1...「AUTO」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

JW-CADにはマウスボタン+移動でコマンド(操作)を選択できる「**AUTOモード**」という機能があります。

1.のクロックメニューはAUTOモード時のコマンド割当表です。

たとえば

マウス左ボタンを押したまま右へ移動。



右のような図が表示されたらボタンを離します。

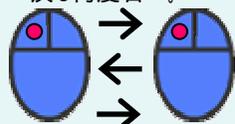


では、「2.」の左AM・3時方向へ移動してありますのでコマンド25を指示したことになります。

「3.」のコマンド一覧により25は「包括」です。

下記図は「4.」の左PM・3時方向の指示です。

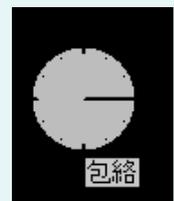
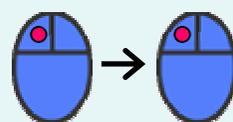
マウス左ボタンを押したまま右へ移動後、円内へ戻し再度右へ。



💡 PM時は円内の色が暗くなります。

一連の操作はマウス左ボタンを押したまま行います。

マウス左ボタンを押したまま右へ移動後、(方向はどの方角でも構いません)



そのまま(ボタンを押したまま)マウスを回すと時間軸方向に対応したコマンドに順に変わります



例: AM4時方向

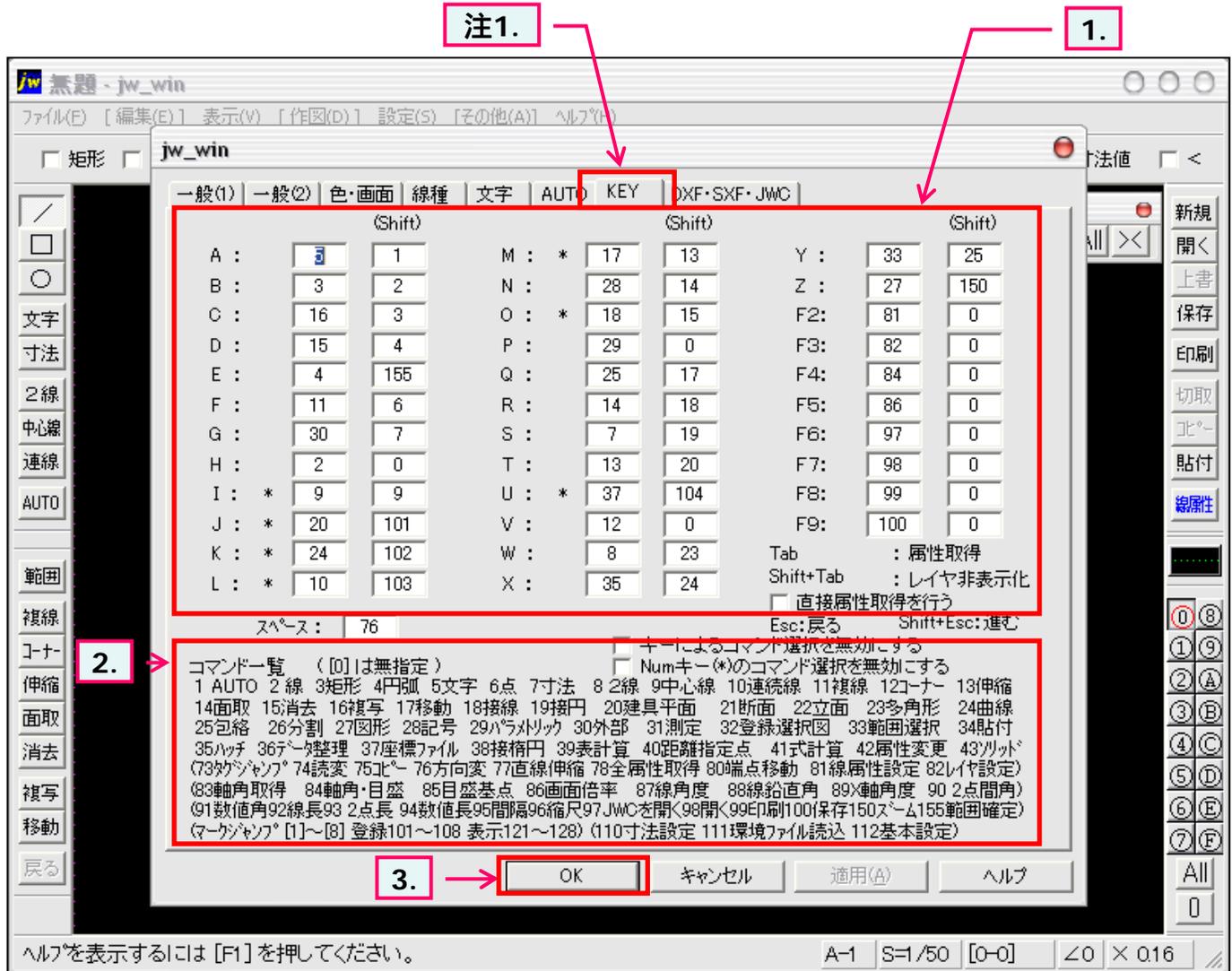
実際にマウスを回して表示されるコマンドを確認してみてください。

右AM・右PMは上記手順をマウス右ボタンで行います。

2-8. 効率よく作図を行うための設定(KEY)

使用環境を設定:KEY

ここでは環境設定「KEY」を見ていきます。



注1...「KEY」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

1. 左からA、B、...はキーボードのアルファベットです。
各数字は「2」のコマンド一覧(操作)に対応しています。

・たとえばキーボード上の「H」を押すと設定数字は「2」ですので直線が作図できる状態になります。また、shiftキーを押したままの「B」も設定数字は「2」ですので同様に直線が作図できる状態になります。

・好みに合わせてコマンド一覧の数字を各keyに割り当てることができます。

3. Okボタンで設定変更の確定をします。

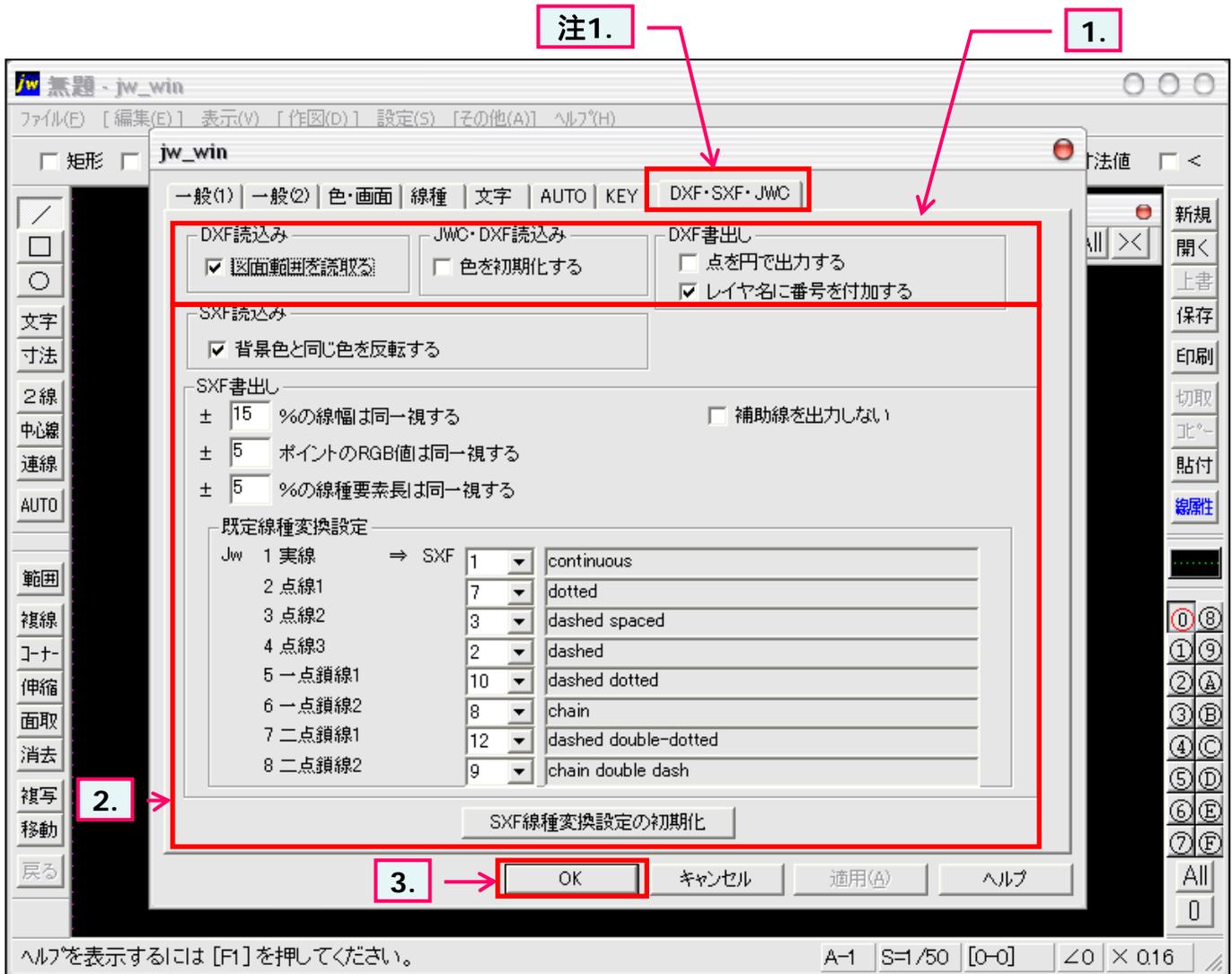
💡 頻繁に使うコマンドの選択は、このキーボード操作で行うことによりマウスでツールバーを押す動作が減ります。結果、マウス操作は作図に集中できますので作業効率が上がります。

6-2で説明しています「通常モードでのクロックメニュー」と同様、是非活用してください。

2-9. 効率よく作図を行うための設定(8)

使用環境を設定: DXF・SXF・JWC

ここでは環境設定「DXF・SXF・JWC」を見ていきます。



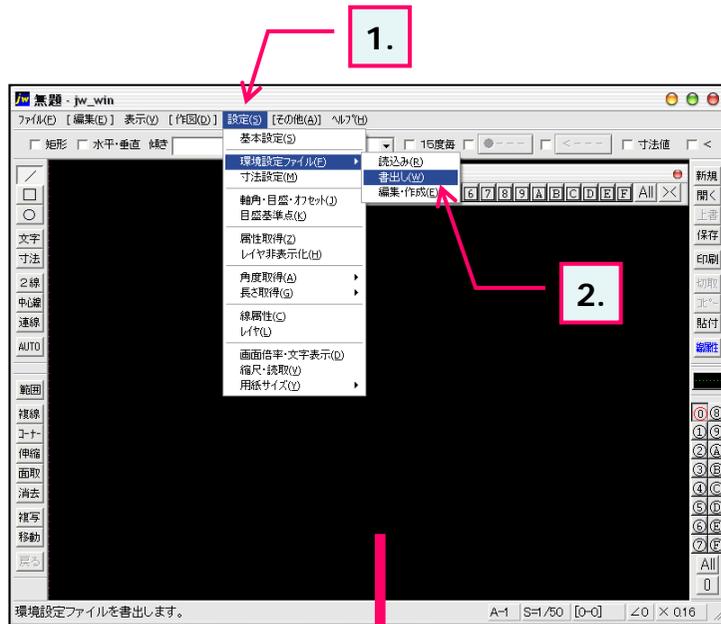
注1・・・「DXF・SXF・JWC」のタブが一番手前に表示されているのをご確認ください。

1. DXF(事実上の業界標準ファイル)の読み込み・書出しとJWCファイルの読み込み時の設定ができます。
JWCファイル以外の入出力変換には別のソフトを使用するケースが多いようです。
・ここでは初期設定値のままにしておきます。
2. SXF(国土交通省電子納品の標準ファイル「sfc・p21」)の読み込み・書出し時の設定ができます。
・JW-CADで作成した図面を上記仕様に合わせることができます。
その他・線色、線幅も設定できますが、ここでは省略いたします。
SXF仕様の詳細は(<http://www.cals.jacic.or.jp/cad/>)へどうぞ。
・DXFと同様ここでは初期設定値のままにしておきます。
3. Okボタンで設定変更の確定をします。

2-10. 効率よく作図を行うための設定(設定保存)

設定した環境ファイルを保存します。

ここでは環境設定の保存を見ていきましょう。



1. メニューバーより「設定(S)」をクリックします。
2. 項目より「環境設定ファイル(F)」

「書出し(w)」をクリックします。

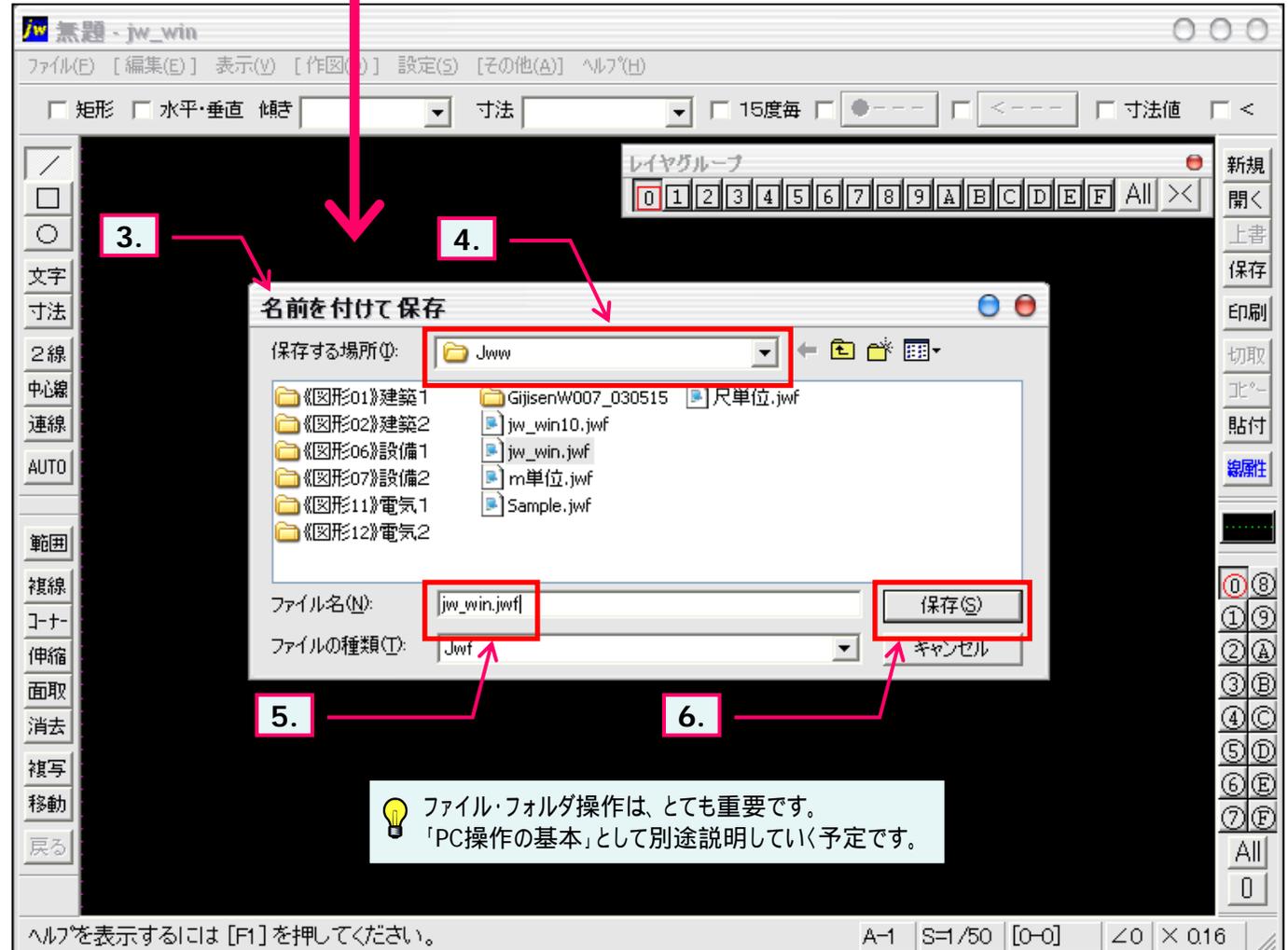
3. 下図のように「名前を付けて保存」ウィンドウが登場します。
4. 保存する場所「Jww」と表示されているのを確認してください。
5. 保存するファイル名(jw_win.jwf)を入力して「6.」の「保存(s)」ボタンを押します。

既に保存してある場合は

「C:¥Jww¥jw_win.jwfは既に存在します。上書きしますか？」とメッセージが表示されます。

設定した内容を保存する場合は「はい」ボタン・以前の状態を残したいときは「いいえ」ボタンを押し、ファイル名に別名を入力して(例えばjw_win.jwfをjw_win2.jwfと入力)保存ボタンを押してください。

💡 ファイル名「jw_win.jwf」はJW-CAD起動時、自動的に読み込まれるようになります。別名で保存したファイルを使用する場合は「2.」部分の「読み(R)」から選択して下さい。



💡 ファイル・フォルダ操作は、とても重要です。「PC操作の基本」として別途説明していく予定です。